

# 農林18号 NiTn18

## 初期伸長に優れ株出し多収

- 初期伸長が旺盛で原料茎長が長く、低温下での萌芽が旺盛となります。
- 春植え、株出しで農林8号 (NiF8) よりも収量が多く期待できます。



農林18号 (NiTn18) は、平成16年に  
**鹿児島県種子島  
(熊毛地域) 向け**の  
奨励品種に採用されました。

### ■ 主要な生態的特性

	発芽性	分けつ性	萌芽性	出穂性	風折抵抗性	脱葉性
NiTn18	良	中	良	無	やや強	やや難
NiF8	良	中	良	多	強	易
NCo310	中	中	中	多	強	難

### ■ 病害抵抗性

	黒穂病	モザイク病	葉焼病	さび病	葉片赤斑病
NiTn18	極弱	強	中	中	強
NiF8	強	強	強	強	強
NCo310	弱	弱	中	弱	弱

NCo310はさとうきび審査基準に記載された標準品種の1つで品種登録の際に使用します。



立毛状態

### 栽培上のワンポイント

- 痩せ地、低温等の影響から農林8号 (NiF8) の伸長、萌芽が不良で収量が低いほ場での栽培に適します。
- 黒穂病に弱いので、黒穂病発生地域での栽培は控えましょう。
- 農林8号 (NiF8) の伸長が良好で多収となるほ場では、伸びすぎて倒伏しやすいので栽培には注意が必要です。
- 脱葉性は「難」で、側枝がやや多いことから、手刈り収穫での作業性はよくありません。



協力：(独)農研機構九州沖縄農業研究センター 沖縄県農業研究センター